

ウオダス 漁海況速報 No. 1985

発行日 平成30年5月1日
 http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184
 発行 (地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所
 TEL:017-755-2155 FAX:017-755-2156
 住所 〒039-3381 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10



5月のウオダス発行予定

日	月	火	水	木	金	土
		①	2	3	4	5
6	7	8	9	10	⑪	12
13	14	15	16	17	18	19
20	⑳	21	22	23	24	25
27	28	29	30	31		

○ 漁海況 □ 漁況

○ウスマバルの資源状態について
 2014年級群が卓越
○平成30年度第1回スルメイカ長期予報
 来遊量は前年並みで近年平均を下回る

小泊 (4月16~30日)
(取りまとめ中)

下前 (4月11~15日)

ヤリイカ	釣り	4隻	22.2kg
(24,936.1kg)	定置網	5隻	2,448.0kg
	棒受網	26隻	22,465.9kg
ウスマバル	釣り	4隻	80.2kg

(4月16~20日)

ヤリイカ	釣り	22隻	116.6kg
(10,590.7kg)	定置網	11隻	440.7kg
	棒受網	38隻	10,033.4kg
ウスマバル	釣り	8隻	398.7kg

鯨ヶ沢 (4月21~30日)
(取りまとめ中)

大戸瀬 (新深浦) (4月26~30日)
(取りまとめ中)

佐井 (4月11~30日)
(取りまとめ中)

大戸瀬 (新深浦) (4月26~30日)

ヤリイカ	定置網	20隻	29.2kg
(53.9kg)	底建網	9隻	24.7kg
マダイ	定置網	21隻	126.1kg
(618.7kg)	底建網	46隻	489.2kg
	刺網	2隻	3.4kg
ブリ	定置網	26隻	78.5kg
(88.9kg)	底建網	6隻	10.4kg
ウスマバル	定置網	1隻	1.8kg
(29.0kg)	底建網	28隻	27.2kg
マダラ	定置網	3隻	13.6kg
(62.5kg)	底建網	10隻	47.8kg
	刺網	2隻	1.1kg
サクラマス	定置網	49隻	462.9kg
(475.8kg)	底建網	2隻	12.9kg
アブラソノザメ	底建網	1隻	30.0kg

平館 (外ヶ浜) (4月21~30日)
(取りまとめ中)

三厩 (4月26~30日)

ヤリイカ	定置網	71隻	631.2kg
------	-----	-----	---------

深浦 (4月26~30日)

ヤリイカ	底曳網	2隻	119.1kg
マダイ	定置網	2隻	13.3kg
(15.5kg)	底建網	1隻	0.6kg
	底曳網	1隻	0.6kg
	刺網	1隻	1.0kg
ブリ	定置網	1隻	20.2kg
ウスマバル	底曳網	2隻	12.0kg
(160.5kg)	刺網	1隻	148.5kg
マダラ	定置網	2隻	11.4kg
(65.9kg)	底曳網	2隻	54.5kg
サクラマス	定置網	1隻	13.3kg
(25.6kg)	刺網	1隻	12.3kg

尻労 (4月26~30日)

ヤリイカ	定置網	8隻	5,490.0kg
(6,658.0kg)	底建網	20隻	1,168.0kg
ウスマバル	底建網	20隻	1,930.0kg
サクラマス	定置網	8隻	1,177.0kg

三沢 (4月26~30日)
(対象魚種なし)

大畑 (4月26~30日)

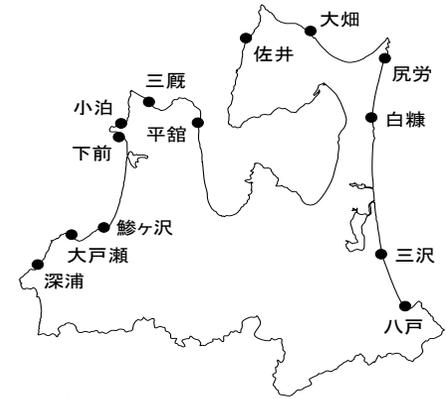
ヤリイカ	定置網	12隻	1,443.8kg
(1,495.6kg)	底建網	9隻	51.8kg
マダイ	定置網	2隻	1.3kg
(6.3kg)	底建網	2隻	5.0kg
ブリ	定置網	12隻	326.8kg
(327.4kg)	底建網	1隻	0.6kg
ウスマバル	底建網	10隻	14.4kg
(26.4kg)	籠	1隻	12.0kg
マダラ	定置網	1隻	7.0kg
サクラマス	定置網	12隻	776.4kg

白糠 (4月26~30日)

ヤリイカ	定置網	1隻	99.0kg
ウスマバル	定置網	2隻	81.5kg
マダラ	定置網	2隻	7.4kg
サクラマス	定置網	4隻	660.6kg

八戸 (4月26~30日)

マダラ	定置網	1隻	20.0kg
-----	-----	----	--------



○平成30年度第1回 瀬戸内海東部カタクテイワシ漁況予報
 瀬戸内海区水産研究所は4月27日、水産関係機関の情報をとりまとめ、以下のような予報を発表しました。
シラス(本年春季発生群)
 紀伊水道東部・紀伊水道西部・大阪湾・播磨灘東部・播磨灘西部・播磨灘北西部のシラスは好漁であった2017年、平年を下回る。



○平成30年度第1回日本海スルメイカ長期漁況予報

日本海区水産研究所は4月27日、水産関係機関の情報をとりまとめ、以下のような予報を発表しました。

今後の見通し(2018年5月~7月)

対象魚種：スルメイカ 対象海域：日本海沿岸域
 対象漁業：主にいか釣り漁業
 対象魚群：主に秋季発生系群
 ・来遊量：前年並みで近年平均を下回る
 ・漁期・漁場：主な漁場は本州北部日本海以北で漁期は近年同様

※近年は最近5年間(2013年~2017年)

【予測】 今期(2018年5月~7月)の日本海沿岸域へのスルメイカ来遊量は、前年並で近年平均を下回ると予測される。

また、対馬暖流域における4月中旬~6月の水温は平年並と予測されており、主な漁場は本州北部日本海以北で漁期は近年同様と予測される。

【情報】

- 2018年4月に実施したスルメイカ新規加入量調査の結果では、今期漁獲対象になると予測される外套背長5cm以上のスルメイカの1調査点あたりの採集尾数は11.6尾で、前年(8.6尾)を上回り、近年平均(16.5尾)を下回った。
- 2017年10月~11月に実施したスルメイカの幼生分布調査では、幼生の分布密度が2016年並であり過去5年(2012年~2016年)平均を下回った。
- 平成30年度第1回日本海海況予報では、スルメイカの漁場形成に影響を与える4月中旬~6月の対馬暖流域の表面水温と50m深水温は、共に「平年並」と予測されている。
- 2017年5月~7月の小型いか釣り等によるスルメイカ(生鮮)の漁獲量は、道北・道央で近年平均を上回ったが、ほかは近年平均を下回った。



沿岸各地の水溫 (4月26日～30日)

日本海 10℃～12℃台 津軽海峡 9～10℃台
陸奥湾 8℃～9℃台 太平洋 8～9℃台

今回は平均前回差が+0.2度となりました。前年と比べると、日本海が-0.2度、津軽海峡が+0.1度、陸奥湾が-0.5度、太平洋が-0.6度で、平均前年差は-0.3度となっています。平年と比べると全海域で「平年並み」となっています。

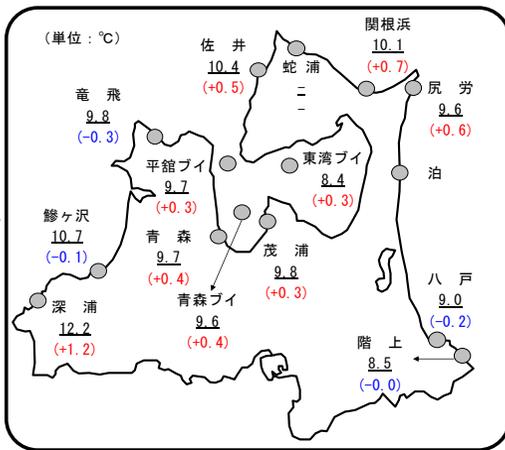


図 定地水溫 (4月26日～30日)
平均値 (平年差) ブイは 1 m

表 沿岸各地の水溫 (4月26～30日)

		(単位:℃)			
		水溫	前回差	前年差	平年差
日本海	深浦	12.2	+0.5	+0.0	+1.2
	鱒ヶ沢	10.7	+0.2	-0.4	-0.1
	平均	11.5	+0.4	-0.2	+0.6
津軽海峡	竜飛	9.8	+0.1	+0.2	-0.3
	佐井	10.4	+0.8	+0.2	+0.5
	蛇浦	-	-	-	-
	関根浜	10.1	+0.1	-0.1	+0.7
平均		10.1	+0.3	+0.1	+0.3
陸奥湾	青森	9.7	-0.6	-0.6	+0.4
	茂浦	9.8	+0.5	-0.9	+0.3
	平館ブイ	9.7	+0.1	-0.2	+0.3
	青森ブイ	9.6	+0.0	-0.2	+0.4
	東湾ブイ	8.4	+0.0	-0.6	+0.3
	平均	9.4	+0.0	-0.5	+0.3
太平洋	尻労	9.6	+0.1	-0.7	+0.6
	泊	-	-	-	-
	八戸	9.0	+0.4	-1.4	-0.2
	階上	8.5	+0.7	+0.3	-0.0
平均		9.0	+0.4	-0.6	+0.1
全体平均		9.8	+0.2	-0.3	+0.3

太平洋の海況

(4月26日～27日、表面水溫分布)

概況：沿岸水溫は8～9℃台
○太平洋沿岸域の表面水溫

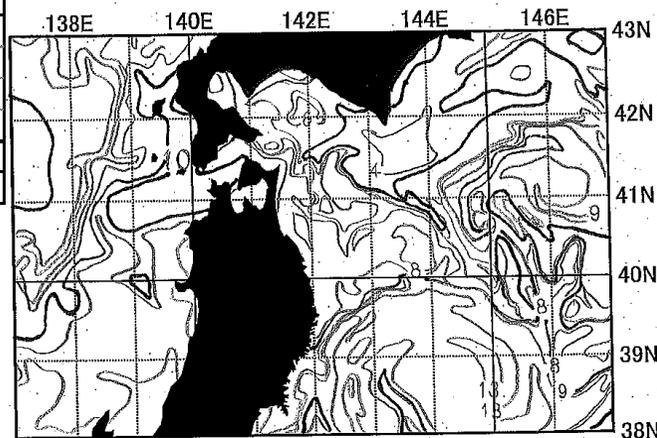
前回と比べてわずかに昇温しています。これは前年同期と比べて1度ほど低い水溫です。

日本海の場合

(4月26日～27日、表面水溫分布)

概況：沿岸水溫は8～10℃台
○日本海沿岸域の表面水溫

前回と比べて変わっていません。これは前年同期と比べて同程度の水溫です。



資料：(一社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況速報 第9号 5月1日発行

○大畑の定置網・底建網によるヤリイカ

1月から4月までの累積漁獲量は約37.8トンで、前年の約61%、前々年の32%と極端に少なくなっています。



○ウスマバルの資源状態について

青森県におけるウスマバルの漁獲量は、2011年から急減し、近年低位水準となっていました。2017年に増加に転じました(図1)。資源量推定の結果、2014年産の年級群つまり2016年2歳魚、2017年3歳魚の資源が卓越的に多くなっています(図2)。2014年級は今年4歳魚(尾叉長23cm前後、体重260g前後)として漁獲主体になると予想されます。また、4歳魚のうち成長の良いものは初めて産卵親魚となりますので、資源水準を低位状態から回復させるためには、卓越発生した今年4歳魚をできるだけ獲り控え、産卵させることが重要となります。(資源管理部 伊藤欣吾)

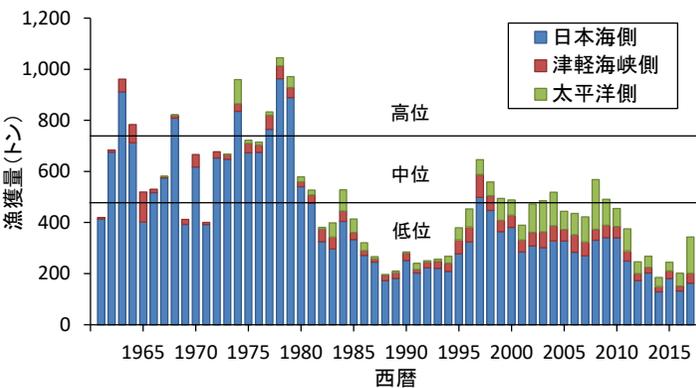


図1 青森県におけるウスマバルの海域別漁獲量

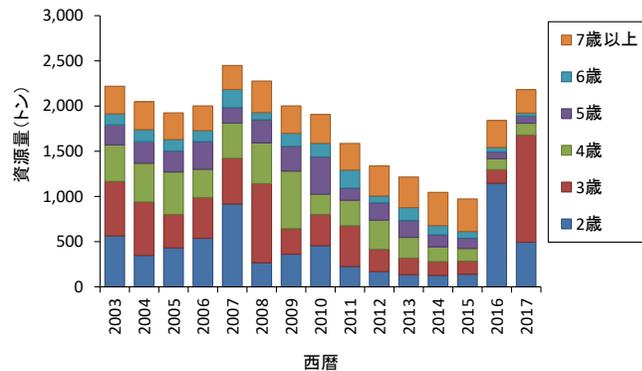


図2 青森県におけるウスマバルの年齢別の推定資源量